沿　革

初代校長／小花冬吉先生

明治

43年 3月 **秋田鉱山専門学校設置**(採鉱学科，冶金学科)
翌44年5月から授業開始

大正

9年 3月 附属鉱手養成部設置

昭和

4年 4月 鉱山機械学科，燃料学科設置
12年 8月 臨時工業技術員養成科設置(昭和13年3月廃止)
14年 4月 機械技術員養成科設置
5月 電気科，金属工業科設置
17年 4月 採油科設置
19年 4月 探鉱科，臨時工業技術員養成電気通信科設置
22年 10月 通信教育部設置
23年 3月 通信教育部採鉱科，冶金科開講
8月 附属地下資源開発研究所設置
24年 5月 **秋田大学鉱山学部設置**(鉱山学科，冶金燃料学科，鉱山電機学科)
6月 鉱山学部通信教育講座発足
25年 4月 附属地下資源研究施設設置(専門学校附属地下資源開発研究所から)
26年 11月 鉱山博物館開館
29年 4月 鉱山学専攻科設置
30年 4月 冶金学科，燃料化学科設置(冶金燃料学科の分離増設)
34年 4月 鉱山機械学科，鉱山電気学科設置(鉱山電機学科の分離増設)
35年 4月 採鉱学科，鉱山地質学科設置(鉱山学科の分離増設)
36年 10月 創立50周年記念式典挙行
39年 4月 機械工学科，電気工学科設置(鉱山機械学科，鉱山電気学科の改称)
40年 3月 鉱山学専攻科廃止
4月 附属鉱業博物館設置
秋田大学大学院鉱山学研究科(修士課程)**設置**
(採鉱学専攻，鉱山地質学専攻，冶金学専攻，燃料化学専攻，機械工学専攻，電気工学専攻)
41年 4月 鉱山土木学科設置
42年 4月 金属材料学科設置
45年 4月 土木工学科設置(鉱山土木学科の改称)
土木工学専攻設置
46年 4月 金属材料学専攻設置
48年 4月 電子工学科設置
52年 4月 生産機械工学科設置
電子工学専攻設置
56年 4月 資源化学工学科設置
生産機械工学専攻設置
60年 4月 資源化学工学専攻設置
61年 4月 附属資源地学研究施設設置(附属地下資源研究施設の廃止)
臨時増募(41人)実施

平成

2年 4月 資源・素材工学科，物質工学科設置
(採鉱学科，鉱山地質学科，冶金学科，金属材料学科，燃料化学科，資源化学工学科，共通講座の改組・再編)
情報工学科設置
3年 4月 機械工学科，電気電子工学科，土木環境工学科設置
(機械工学科，生産機械工学科，電気工学科，電子工学科，土木工学科の改組・再編)